

刊夕日一廿月七

常磐每日新聞

定額一圓金、月五拾銭、半年二圓五拾銭、年四圓五拾銭
 廣告料五號十二字第一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

佛説三千年

眞 繼 雲 山

釋尊が拘戸那城外、跋提河畔において涅槃の雲に入り給ふてから今日までザツトと二千五百年になる。

人類がチグリスユーフラトのほとりに初めて出生したといふ記録から今日まで六千年世界で一番古く開けたといはれる埃及開國から大約四千年を経たといふから佛教は地球人類史の半ばを占めて来たわけである。

日本歴史は神武建國以來二千六百年であるが佛教の渡來によりて飛鳥朝廷の文化が開けてより後千三百年である。

地球といひ人類といふも未だ一萬年の記録さへ有してゐないのであるから、此先き一萬年たつと人類は何うなるか、そんなことを考へ初めると際限がない、それよりも先づ脚痕不の仕事に精進することだ。

地球上に十五億の人類ありて、内六億は佛教を奉ずるといはれるも、それは統計的な概観であつて、本統に佛教を信奉するものは現代日本においてさい百人うち幾人を算することか。無信の人は曰ふ「佛様々々といふて有難がる」とも要

するに三千年前に釋迦といふ人間の説いた話ではないか……と私たちは釋尊の教説に限りなき真理を見、底知れぬ感激を覚ゆるのであるが、宗仰なき人々のさうした冷やかな觀測を、私は必ずしも無理だとは思はない。

たゞ茲に一つ、さうした冷やかな無信心人に告げたことは、その釋尊の教説が佛教として三國にまたがり二千五百年の歴史を経て今日に傳はつて來てゐるといふ目前の事實そのものである。

或る先哲は「友は古きを以て尊しとす」といふてゐるが成るほど無價値有害の友なりせば自然に斷交する十年廿年卅年と交つてゐるといふことはそこに友としての生命價値があるからである。

佛教の價値を理論的に立證することを姑く別問題とするも佛教が二千五百年の歴史を経て三國はおろか今や歐米人にまでも迎へられつゝある事實は佛教そのものに牢乎不動の生命が無くしては能はぬことである。



宵の明星

猪狩正右衛門

仄かに夕明りする西空に只一つ輝き初めた宵の明星一日勞働に疲れた吾等を慰むるやうに
 その美しき光よ——
 崇高にもまた優しく
 慈愛の瞳にも似て
 夕な夕な輝く明星を
 我は限りなく尊崇し
 限りなく讚美する

貴金 屬
 時計及眼鏡類
 懐中電燈
 キミガヨ電気
 ランプ特約店
高橋時計店
 平町 橋 路

藤沼醫院
 平町 紺屋町
 電話 五七〇番

例年の通り
 氷水及び色々の新口な飲料水を初ましたから例年の通り御引立御用命下さい。
調味は百パセントデス
山盛の!

特製

アイスクリーム	十銭
あづきアイス	五銭
ミルクセイキ	十五銭
リスターダ	十銭
氷スイカ	十銭
氷金とん	十銭
氷パイナップル	十銭
外澤山メツラシキ飲料物御座い	十銭
平町三丁目	



速迅前出
 電話 六三三番

三井

タクシー
 電話 六八五番



旭硝子株式會社製品
 赤菱印
板ガラス
 菓子食器
 硝子壺
 其他各種

松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)

耳鼻咽喉科専門
増田醫院
 平南町(電話四八二番)

御料 鹽 豚
 コーン ポーク
 田町 三二二三屋
 電話 三二三番

今般食堂部を加設致しました
 洋食一般出前致します
 何卒御用命下さる様御願ひ致します
食堂部開店

料理店は従前通り營業を續けて居りますから此際倍舊の御愛顧賜り度く御願ひ致します

福榮亭
 (番五二三電)町田平

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス
 磐城セメント株式會社
 代理店 **西村屋藥舗**
 平町二丁目(電話三)

河口の改修効を奏し 危く難を免る

夏井川下流の水田 一時浸水したが間もなく排水

十九日より昨日にかけての豪雨にて増水十一尺餘に達した夏井川の下流草野、神谷、大浦等の各村では水田の浸水せる箇所が廿九町餘の多數に及んだので地元農家は早くも作物の大被害を豫想し悲観して居た處先般協力して行つた同川河口の改修工事効を奏し排水極めて順調であつた爲め以前の如く河口が閉鎖して逆流するが如き結果を見なかつた爲め前記農村は水田流失の被害を危く免れたと

籠球練習

平第二校で

平第二小學校にては今秋九月二十三日福島女子師範學校に於て開れる縣下各小學校女児バスケットボール大會に出場すべく今夏休中猛練習を行ふと

實地授業見習

平第二小學校へ福島女子師範學校本年度卒業生三名が本日から今月末迄實地授業見習の爲め來校されると

葉書 節約?

夏人氣未し

けふも曇り勝ち まだグツ付天候

梅雨中憂鬱に降り続いた雨は昨日の土用入りにもハツキリせずけふは朝ビカリと晴れて愈々本格的な暑さが來たかと思つたのも

束の間

で又薄ボんヤリした陰鬱な日になつて仕舞ふなど夏人氣が少しも引立たずその上財界不況

傳つてか昨今の平郵便局では暑中見舞狀の動きがなく例年この七月中旬から八月中旬の一ヶ月にかけては日

二千枚前後の動きを見るのに本年はこの二割にも達せずこれに依り各商店や市民が一錢五厘のバガキ

俄かの蒸し暑さに 卒倒者續出

手厚い看護に 間もなく回復

けふ平第二校で

平第二小學校にては本日俄かの蒸し暑さに十一名の卒倒者あり轉手古舞ひを演じた各訓導の手厚い看護に依つて何れも間もなく回復した

磐中水泳 講習會開く

磐城中學校水泳部にては本日より二週間同校プールに於て講習會を開くが講師は鈴木、齋藤兩君にて左の

急告

左記各號の「常磐毎日新聞」相當代價にて譲受け度しお持ちの方は御一報を乞ふ。姓名在社

年月日(夕刊)	號	數
昭和三八・八	一三七九	
同 三・八・一	一三八一	
同 三・八・二七	一三九五	
同 四・一・一	一四八九	
同 四・四・九	一五六六	
同 四・四・一五	一五七一	
同 四・六・二八	一六三一	
同 四・六・二九	一六三二	
同 四・一〇・一	一七一六	
同 四・一〇・一	一七七一	

座談會を催すと

△三級生 四級の泳法の外互抜手、ブレスト、バツクストローク
△二級生 三級生の泳法の外サイドストローク、順下、逆下、逆飛、チンバ抜

江堰改修検査

既報愛谷江堰の改修工事は此程竣工を見たので来る廿五日農林省の山本技師及び縣堤技手の兩氏が來平廿六日愛谷江堰の竣工検査を行ひ廿七日には鮫川水利組合の幹線水道の改修工事を視察する事になつた

平驛荷物取扱 改正規定説明

八月一日から荷物運送規則の一部が改正し大荷物荷物共に取扱の重要な改正が行はれるので平驛にては廿二日午後七時から平鐵道俱樂部にて一般入の爲めに是れが説明會を開くと

夏の御調髪は 是非どうぞ

明るい感じ！清々しく電気バリカンの爽快な刈込み氣持よいシヤンパー電氣アイロン電氣マツサチの上品な仕上げ
□キツト皆様の御氣に召すので御座います。そして……御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舖の優秀なる御調髪をぜひ一度御試めし下さい。

石崎理髮店

平田町電話一八八番

涼味百パーセント菊地の白靴

お若いお方にノーブル型最新角型はモダン好みお中年のお方は先細型とてもシックで値が安い
当店自慢のリネンシュー
三、二〇ヨリ……五、〇〇マデ
平四 菊地靴靴店
電話(呼)四三六

神教水 (新容器入)

赤い目に一滴できくかゆ目
家傳 神教水 (新容器入)
平町二丁目(電三二六) 堀藥局

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 平町田町 電話五一三番

血塗れの亂闘

荒井巡査兇賊を捕ふ

大杉稻荷の引合せか 強盗に出掛ける處を

今朝三時半頃平署員荒井巡査が私服にて材木町大杉稻荷神社

附近を密行中一名の青年が社殿裏手の暗がり

たゞずんで居るのを怪しみた本署に同行せんとするや突然逃走を企てたので大格闘となつたが体力非凡な男で仲々屈せず同巡査は右腕足等に裂傷を負ひ血まみれとなつて漸く取押へ

本署に拉致し取調べると同人は山形市二日町生れ住所不定窃盗前科四犯の遠藤榮(三)といひ先月初旬水戸刑務所を出獄以來石城郡内に入込み湯本一級、平等で窃盗を働き同朝も一級せんと西洋剃刀一丁、ロウソクを所持し出掛ける處を捕縛されたもので

同人は平署の刑事部屋で大アグラをかき面憎いばかりに落付きはらつて「今日から強盗に出世する積りだつたが、掴つて残念だ」と豪語して居た尚荒井巡査の傷は全治二週間を要すと

舞踊の夕の 既報來番組が決定する二十三日午後七時半より舞踊の

- 夕を催す平第二小學校にては本日午前八時より之が練習をなし後校長の批評並に注意等あり更らに午後一時からは職員會議を開いたが、當日のプログラムは左の如くである
- 遊戯お山の大将 尋三
- 同 夕焼小焼 同二
- 唱歌 蓮の花 高一
- 遊戯 マドングリ 尋一
- 同 お天道さん 尋三
- 唱歌 唯がした 同五
- 遊戯 日和傘 同三
- 同 月の汰漢 同六
- 唱歌 雷ゴロチャン 同二
- 遊戯 オオヒサン 尋一
- 對唱 人形病院 同四
- 遊戯 カサカサ兵隊さん 同三
- 同 花嫁人形 同六
- 唱歌 夏の夜 高二

小野田炭礦専用線 隧道の入口が陥没

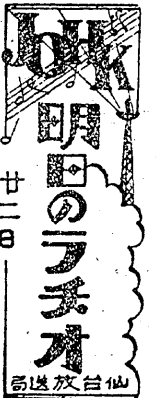
入山が地下採掘の結果 列車運轉が危険

石城郡磐崎村小野田炭礦より湯本町に通ずる専用鐵道の辰之口地内隧道入口が去月下旬より龜裂を生じ危険に瀕して居た處最近では軌道地が陥没状態を呈するに至つたので同礦にて地盤を調査した結果入山炭礦が同地下を掘進採炭した爲めと判明した爲め列車運轉が危険となつたので一日六往復の運轉をして居たのを三往復に減じて徐行運轉中であるが同専用線は石炭搬出の傍ら炭礦従業員家族唯一の交通機關とされて居るので

平署に 五回も 檢舉された

ロハ食常習犯 檢舉された

石城郡飯野村大字上高久字片寄一四大和田義光(三)は昨廿日午後十一時頃小名濱町字下横町飲食店惠比須屋方にて一圓八十錢の飲食をなし逃走せんとして駐在所に突出され本日平署に押送



明日のラジオ 廿二日 報豫氣天 今晩も明日も南西の風晴れたり曇つたり夕立ちの氣味

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「正直な善助」奈良島知重
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 村岡花子
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー
- 後七、三〇 講演「電氣の話」仙臺通信局監督課長
- 取調中であるが同人は無銭飲食の常習犯で昨年以降平署に五回に亘つて檢舉されたものであると

留守中に 空家となる

歸宅してビックリ

石城郡豊間村字薄磯居住船大工佐々木勇治郎(三)は去る十九日午後八時頃江名町の仕事場より歸宅せる處家財道具が全部紛失して居るの附近の者に尋ねると同日午後二時頃三十才位の職人の男が佐々木は今夜から仕事場に寝起す事になつたので依頼されたと稱し道具類を持出した事判明直ちに駐在所に届出たので平署では目下犯人を捜査中である

暴力行爲 懲役を求刑

懲役を求刑

既報石城郡泉村大字泉字小山六十五番地會社員佐藤權兵衛(三)及び同人方無職高原藤吉(三)の兩名が去月二十八日午後七時頃同郡湯本町大字三國武田謙方に至り債權者鈴木啓造の依頼により貸金の催促をなすに當り亂暴を働いた暴力行爲及び傷害事件の公判は昨日午後一時より平區表判所に於て關口判事係り上田檢事立會

平署の巡閲に 四氏表彰さる

既報平署の巡閲講評は昨日來平した田中警務課長に依つて行はれたが執務成績の

後九、三〇 時報 番組 ヌース 氣象通報

明日の部

- 前六、〇〇 ラジオ体操
- 前九、〇〇 料理献立「船のカレー粉揚」朝倉長吉
- 前一〇、三〇 家庭講座「兒童舞踊」花柳珠實
- 伴奏北村秀美子
- 後八、〇〇 五明清樂「赤壁賦」蘇東坡平井連山
- 後二、〇〇 家庭講座「箏曲」二六 實演解説宮城道雄 唱奏城芳子 土野惠子 伴奏牧瀬數江
- 後三、三〇 家庭講座「大輪朝顔に就て」一 伊藤
- 恒次 後六、〇〇 子供の時間 お話と唱歌(お話藤藤七五郎中將)仙臺市五ッ橋高等小學校二年生大河内克夫(唱歌藤藤中將)仙臺市荒井小學校六年生
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 村岡花子
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー
- 後七、三〇 講演「輪船規則の改正に就て」仙臺鐵道局運輸課長早川慎一
- 後八、〇〇 謠曲「俊寛」高澤啓次外
- 後八、五〇 連續浪花節「夕立潮五郎終席」木村友忠

平商校友會 平商業 雜誌の文藝 學校に

平商業 雜誌の文藝 學校に 行すべく全校生徒に對し詩和歌、俳句、川柳、其他の募集を開始した

長橋青年總會 平町 長橋町青年團分團にては

長橋町青年團分團にては明廿二日午後四時から尼子亭にて臨時總會を開くと

磐城女出場職員 磐城 高等女學校にては來る二十

八日正午より磐城コートに於て開れる濱三郡教員庭球大會に大内、鈴木組が出場する事に決定したと

尋四の學藝會 平第 二小學校にては明日午前八

時半より尋常科第四學年の保護者を招待し同學年の學藝會を開くと

平職業紹介所報告

- 回求人部
- △出前持 十六才 尋卒
- △給料面談(平町某)
- △兒守 十四才 尋卒 仕
- △店員 十八迄 高卒 給
- △料面談(夏井村某)
- △回求職の部
- △農夫 三十才 高卒 給
- △料面談(秋田縣某)
- △運搬夫 三十四才 尋卒
- △給料面談(横濱市某)
- △女中 二十四才 尋卒
- △給料面談(平町某)
- △旅館番頭 三十九才 高
- △卒給料面談(平町某)
- △看護人 五十三才 無學
- △給料面談(平町某)

平町人事

- △出 生
- △紺屋町二七馬目正氏長女 智子
- △回 死
- △紺屋町一二當時東京市小石川區宮下町二土田トメ (四〇)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百七席

真庭念流の達人櫻井五助

藤藏等來がた許りに
藤藏は林藏に向ひ
藤「何ね白子の琴次さんが送りを付けてくれました。今度漸く歸つて来ました」
林「さうか、モツ主は身體は良いか」
藤「お蔭で達者になりました、さア皆さん此方へお出でなすつて」
入つて來たは三人これは病氣に付いて伊勢の白子の琴次の許に残して來た子分の藤藏に琴次の子分象藏に仙太郎この者共が來たばかりに林藏が横死をするやうな事にもなつた、林藏は久々にて子分の藤藏に會ひそれに伊勢からわざ／＼送つて來てくれた臺屋の琴次の子分象藏に仙太郎にも會ひ林「何うも有難うございませした」
象「親分からもよろしく申しました」

其時藤藏が立つて行つたが持つて來た有松三段藤「これは琴次親分からの土産でございます」
林「そいつは氣の毒だナ、象藏どん仙太郎どん親分によろしく申して下さい、マアゆつくり遊んで行つておくんないさ」



二人を家に置き毎日のやうに川越へ行くとか上尾へ行くとか此二人を馳走するそこで林藏が考へたのは二人が歸るときにはまともつた金を小使としてやり度い二十五兩づつも持たして歸

したいとは云へ今は堅氣の身、それ程の金の融通も附きません、そのうちには何とかなるだらうと、二月ばかり二人を遊ばして置く内に四五十兩も借金が出来た早く歸して下へばよかつたものを遊ばして置いたが過失、さア林藏は困つて了つ

大郎の二人を頼んで藤藏と三人で六尾村から一里半餘り離れた廣谷へ賭場を立てました、此件が間違ひの原因林藏は藤藏を貸元にして自分は赤尾村の住居で寺銭の上つて來るのを待つてゐた、所が賭場の方は林藏の名を出さぬ爲め集まりが悪く、それですから勢ひ所得も少い、最初の日には一兩二分より上りません、こんな事では仕方がないと思つたが、さりとて博奕場にお出でなさいと廣告する譯にもなりません、すると二日目の正午過ぎ廣谷の百姓が一人飛込んで來た、
○「親分早く賭場へ來て下さい喧嘩が出来ました」
林「さうか相手は何者だ」
○「何者だか判らねえだが暴れ込んで來た奴がございませ」
林「それ大變だ、では一緒に行きませう」
長脇差を腰にして宙を飛ばやうにして來た廣谷の賭場、見ると大きな男が長い刀を引抜いて喉を切つてゐる、藤藏に象藏に仙太郎の三人は客人の手前を兼ねて和めて居ります、そこへ飛込んで來た林藏
林「ヤイ藤藏、甘い言葉をかけるから野郎は付け上る斬つて了へ」
藤「ヘエ親分殺すのは何の雜作もございませんがお客様方を騒がしては氣の毒だと存じまして」
林「それもさうがな、ヤイ手前は何處の者だ、ウム造酒藏ぢやアねえか」

云はれて彼の男が林藏を見て吃驚した
造「赤尾の親分でございませ、どうもとんだ事をしました、親分の賭場とは知りませんで」
林「知らねえといふなら今日は助けて歸すから、さア早う歸れ」
造「洵に申譯もございません」
両手を突いて詫言した。
運動靴は……
月星
品質は斯界の王
名入れ金具付きの
サーピス
平田町
大塚運動具部
電話七七番

例年の通り
氷水 始めました
多少に拘らず御用命御引立の程願上ます
特製
アイスクリーム(山盛) 金十錢
あづきアイス(同) 金五錢
ミルクケーキ(同) 金十五錢
ソーダ水 金十錢
其他氷水各種
出前迅速
藤寅
平一丁目
電話一四一番

初夏サロンの新装
店内清楚にして氣持良
アイスクリーム 十五錢
タンク入りソーダ水 十五錢
ドーゾ御用命を……
田町 サロン
電話三三二番

石炭の大特賣
塊炭 正味十貫目 俵 金貳拾錢
「品ガ良ク」「値ガ安ク」
「目方ハ正確」デス
トニカク一度……
使ツテ見テ下サイ
配達ハ一俵ヨリ致シマス
御注文ハ
電話三七番
平驛前

上田外科醫院
平町 南町
電話二九番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病 腸病
病林 門專 院醫科
電話七〇一